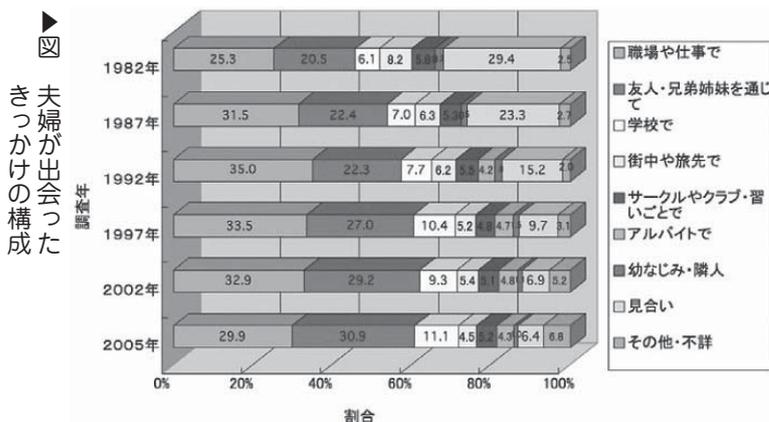


かさまりアージュ

【出会いの変化?】

下の図は、国立社会保障・人口問題研究所が初婚同士の夫婦を対象に、出会いのきっかけについて調査したものです。この結果をみると、最新の2005年では職場関係の出会いよりも友人等を通じての出会いの方が多くなっています。さらに、2月放送のNHK「クローズアップ現代(結婚したいのに)」で放送されたなかでも未婚率の上昇の大きな原因のひとつに職場での縁が少なくなったことをあげています。見落としがちな身近なところ、目を向けてみると意外な出会いがあるかもしれません。職場での出会いに恵まれない状況もフォローできるよう、笠間市などの自治体をはじめ、いばらき出会いサポートセンターではさまざまなイベントを企画しています。ホームページなどで情報を入手しぜひご利用ください。



【問合せ】
 いばらき出会いサポートセンター
 〒310-0011
 水戸市三の丸1-5-38
 (茨城県三の丸庁舎3階)
 TEL 029-224-8888
 FAX 029-224-8921
 受付時間 午前9時～午後5時
 (年末年始・祝日を除く)
 HP <http://www.ibccnet.com>

市長コラム

震度6強

その時、私は市長室にて議会の打合せを職員と行っていました。「カタカタ」という音から「ガタガタ」「ギンギン」とゆれが大きくなり、「でかいぞ」「キヤー」「大丈夫か」「頭に気をつける」「早く外に出ろ」悲鳴と物が割れていく音から始まりました。一瞬の出来事でしたが、感じたことのない恐怖感に覆われました。

3月11日午後2時46分。世界最大級の地震が東北、関東地方を中心に発生し、未曾有の大きな被害をもたらしました。この地震において亡くなりました多くの方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。そして、未だ行方不明となっている方々の早期発見を願うとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

笠間市においても、約2,500戸の家屋や公共施設、ライフライン等に大きな被害がありました。地震後においては避難所8カ所に最大時には約2,000人の方が避難されました。その後、原発に不安を感じた福島県等の方々の避難が続いており、避難所、給水活動、各所復旧等の作業において多くのボランティアの方々、企業・商店の方々に尽力いただき、また、さらに義援金、物資の支援も各方面からいただき、皆様の心温まる励ましに深く感謝を申し上げます。



支援物資を届けてくれた田辺市職員と(3/12)

また、地震後の対応については市民のご要望に対して行き届かない点があり、不安とご迷惑をおかけしましたことにお詫びを申し上げます。市としましては、完全復旧に向け全力で取り組んでまいります。また、今回の地震を教訓に防災対策を進め、安心で災害に強い街づくりに取り組んでまいります。

市民の皆様には、冷静に行動していただきましたが、改めて地域においての支え合いや、助け合う意識を持って行動することの大切さ、また自主防災組織の必要性を認識されたと思われ

私も地域連携の必要性や、トップとして常に冷静にスピーディに判断する事の重要性を肝に銘じました。

市民の皆さん、笠間の未来に向け頑張りましょう。(3月22日)

笠間市長
山口伸樹